

▶トピック 好きな食べ物 第5課 うどんが好きです					
「話す」① 活動3. お茶、飲みますか？ Can-do 18: 飲み物をすすめられたとき、何を飲むかなど、答えることができる。					計 120分程度
段階	目的	進め方	使う物	ポイント	時間
Can-doの確認					
Can-doの確認	学習目標の明確化	Can-do 18を見て、この活動で、できるようになることを確認する。		学習のあと、どんな場面でどんなことができるようになるかを具体的にイメージさせる。	2-3分
<b>1</b> ことばの準備					
(1)絵を見ながら聞く	音声と意味を結び付ける	【飲み物】の a.-h.のイラストを見ながら音声を順番に聞く。学習者は音声を聞いて、心の中で、文字・イラストと照合する。	音声 05-18		5分
(2)音声を聞いて繰り返し返して言う	ことばを発音してみる	イラストを見ながら音声を順番に聞き、直後に自分でも発音してみる。	音声 05-18		5分
(3)音声を聞いて絵を選ぶ	理解の確認	ランダムに発音される音声を再生する。学習者は音声を聞いて、【飲み物】の a.-h.のイラストを選んで指さす。 ↓ クラスで解答の確認	音声 05-19	学習者の理解度によっては、クラスでの答え合わせは省略してもよい。  この段階では、全てのことばを暗記する必要はない。	5-10分
<b>2</b> 会話例を聞く					
場面の確認	会話の場面や目的を確認する	▶の部分の設定と①～④の4つのイラストを見て、「いろいろな場面で、飲み物をすすめられている」場面であることを確認する。			2-3分
1回目の聞きとり (1)飲み物の名前を聞き取る	ポイントを決めて聞き、会話を段階的に理解する	【聞く前に】 ・初めに「飲みますか？」の意味を確認する。  【聞く】	音声 05-20 音声 05-21 音声 05-22 音声 05-23		10分

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・①「職場で」の音声を聞いて、飲み物の名前だけを聞き取ることを確認する。聞き取ったことを表の(1)の欄にメモする。</li> <li>・続いて、②「居酒屋で」、③「職場で」、④「公園で」の音声を聞いて、学習者それぞれが答えを表の(1)の欄にメモする。</li> </ul> <p>【聞いた後で】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを見ながら、はじめに学習者同士で答えを確認する。そのあとクラス全体で答えを確認する。</li> </ul>		<p>「!」ことばの準備」を見ながらメモしてもいいし、見ないで自分でメモできる人はそうしてもいい。メモは、日本語で取ってもいいし、母語でメモしてもいい。</p> <p>1回聞いただけではメモできなかった場合は、繰り返し聞かせる。</p>	
2回目の聞きとり (2) 飲むか飲まないかを聞く	ポイントを決めて聞き、会話を段階的に理解する	<p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めに①を聞いて、今度は、すすめられた飲み物を「飲むか飲まないか」を聞きとることを確認する。表の(2)の欄の口に、✓を付ける。</li> <li>・②～④を聞いて、それぞれの表の(2)の口に✓を付ける。</li> </ul> <p>【聞いた後で】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを見ながら、はじめに学習者同士で答えを確認する。そのあと、クラス全体で答えを確認する。</li> <li>・会話の細部が気になる学習者には、課の最後にある「聴解スクリプト」を自分で見て確認するように言う。</li> </ul>	<p>音声 05-20 音声 05-21 音声 05-22 音声 05-23</p> <p>聴解スクリプト</p>	<p>学習者からもう一度聞きたいという要望があった場合は、もう一度聞いてもよい。</p> <p>ポイントを聞いて理解すればいいので、スクリプトを全て説明する必要はない。</p>	10分
<b>形に注目</b>					
(1) 音声を聞いて下線にことばを書く①	言語形式に注目する	<p>はじめの部分の4つの文を聞いて、下線にことばをメモする。</p> <p>↓</p> <p>クラスで答えを確認する</p>	音声 05-24		2-3分
「!」の質問について考える①	文型や表現について考え、ルールを発見する	<p>飲むものをたずねるときは、「飲みますか?」「飲む?」と言うことを確認し、「V-ますか?」「V-る?」という形と意味を結び付ける。</p> <p>↓</p> <p>文法ノートを見て説明する</p>	文法ノート③	説明はクメール語で行う。時間がなければ各人で読ませる(以下同)。	5-10分
(1) 音声を聞いて下線にことばを書く②	言語形式に注目する	<p>2番目の部分の2つの文(はい、___/いえ、___)を聞いて、下線にことばをメモする。</p> <p>↓</p> <p>クラスで答えを確認する</p>	音声 05-25		2-3分
「!」の質問について考える②	文型や表現について考え、ルールを	<p>飲むときの言い方、断るときの言い方を確認する。</p> <p>↓</p>	文法ノート③		5-10分

	発見する	文法ノートを見て説明する			
(1)音声を聞いて下線にことばを書く③	言語形式に注目する	最後の部分の会話文を聞いて、下線にことばをメモする。 ↓ クラスで答えを確認する	音声 05-26		2-3分
「！」の質問について考える③	文型や表現について考え、ルールを発見する	飲みたいものを言う時は、飲みたいものと言ってから「～お願いします」を付けることを確認する。 ↓ 文法ノートを見て説明する	文法ノート③		5-10分
(2)形に注目して会話をもういちど聞く	学んだ文型や表現を会話例の中で確認する	はじめに聞いた4つの会話例をもういちど聞く。勉強した文型や表現が、会話の中でどのように使われているかに注目する。	音声 05-20 音声 05-21 音声 05-22 音声 05-23	「聴解スクリプト」を見ながら確認してもよい。	5分
<b>3</b> 話す					
(1)モデル会話を聞く	これから話す会話のモデルをインプットする	会話の吹き出しを見ながらモデル会話を聞く。順番に、①左→①右→②、の3つのパターンを聞き、違いに注意する。	音声 05-27 音声 05-28 音声 05-29	吹き出しをPPTのスライドで示し、指しながら聞かせるとわかりやすい。	5分
(2)シャドーイング	モデル会話を自分でスムーズに言えるようにする	会話の3つのパターンについて、順番に音声を聞き、シャドーイングする。スムーズに言えるようになるまで、何回か繰り返す。	音声 05-27 音声 05-28 音声 05-29	大きな声は出さず、自分でつぶやくように発音するよう注意する。はじめは文字を見ながらシャドーイングしてもよいが、最後は何も見ないでシャドーイングできうるようになる。	10分
(3)ロールプレイ	場面を考えて、自分の言いたいこと、本当のことが言えるようにする	・はじめに、クラスでロールプレイの場面設定を確認する(パーティーの場面で、友だちに飲み物をすすめる) ・ペアになって、練習する。一通り終わったら、ペアを代えて別の人と練習する。相手を代えて、何回か練習する。 ・ペアを選んで、クラスの前で何組か発表してもらおう。		最初は、吹き出しの白抜き部分のことばを入れ替えるだけでもよい。だんだん、自由な会話に発展させられるとよい。	10-20分
Can-do チェック					
Can-do チェック	学習したことを振り返る	・巻末のCan-doチェックを使って、Can-doが達成できたかどうかを「★★★:よくできた」「★★:できた」「★:まだ難しかった」の3段階で、自己評価する。 ・コメント欄には、活動の感想やこれからやってみたいことなどを、自由に記入する。	巻末「Can-doチェック」	Can-doチェックは、ひとつの活動が終わるごとに書いても、その課の学習が終わったときにまとめて記入してもいい。	5分

▶トピック 好きな食べ物 第5課 うどんが好きです					
「話す」② 活動 4. 朝ご飯はあまり食べません Can-do 19: 朝ご飯に何を食べるか質問したり、質問に答えたりすることができる。					計120分程度
段階	目的	進め方	使う物	ポイント	時間
Can-doの確認					
Can-doの確認	学習目標の明確化	Can-do 19を見て、この活動で、できるようになることを確認する。		学習のあと、どんな場面でどんなことができるようになるかを具体的にイメージさせる。	2-3分
1 ことばの準備					
(1)絵を見ながら聞く	音声と意味を結び付ける	【朝ご飯】の食べ物や飲み物を表す a.-m.のイラストを見ながら、音声を順番に聞く。学習者は音声を聞いて、心の中で、文字・イラストと照合する。	音声 05-30		5分
(2)音声を聞いて繰り返し返して言う	ことばを発音してみる	イラストを見ながら音声を順番に聞き、直後に自分でも発音してみる。	音声 05-30		5分
(3)音声を聞いて絵を選ぶ	理解の確認	ランダムに発音される音声を再生する。音声は「朝ご飯は～です」「朝ご飯は～と～です」の文に載せて発音されている。学習者は音声を聞いて、【朝ご飯】の a.-m.のイラストから、1つ、または複数を選んで指さす。 ↓ クラスで解答の確認	音声 05-31	学習者の理解度によっては、クラスでの答え合わせは省略してもよい。  この段階では、全てのことばを暗記する必要はない。	5-10分
2 会話例を聞く					
場面の確認	会話の場面や目的を確認する	▶ の部分の設定とシチュエーションイラストを見て、場面と登場人物を確認する。ここでは、ステージーさん、アミラさん、マークさん、松田さんの4人が、(職場などの)昼休みに弁当を食べながら雑談している場面であることを確認する。			2-3分
(1)スクリプトを見ないで聞く	会話例の大まかな内容を理解する	【聞く】 ・音声を聞いて、4人がそれぞれ朝ご飯に何を食べるか、何を飲むかを聞き取り、表にメモを書く。 ・表がだいたい埋められるまで、何回か繰り返し聞かせる	音声 05-32	テキストを印刷した表に書き込んでもいいし、ノートにメモしてもいい。メモは、日本語で取ってもいいし、母語でメモしても	10分

		【聞いた後で】 ・クラスで答えを確認する。		いい。	
(2)スクリプトを見ながら聞く	少しくわしい内容について聞きとる	【聞く】 ・本文にあるスクリプトを見ながら聞き、音声を聞いただけではわからなかった点を、文字を見ながら確認する。  【聞いた後で】 ・ピンクの□の中にある新しいことばや表現の意味を確認する。 ・質問がないか確認する。	音声 05-32	ピンクの枠の新しいことばは、音声をいちど聞いてから意味を確認してもいいし、音声を聞く前に単語の意味だけ確認してもいい。	10分
形に注目					
(1)音声を聞いて下線にことばを書く①	言語形式に注目する	はじめの部分の音声を聞いて、下線にことばをメモする。 ↓ クラスで答えを確認する	音声 05-33		2-3分
「！」の質問について考える①-1	文型や表現について考え、ルールを発見する	1つ目の質問を考え、「食べる」「飲む」の対象物は、助詞「を」を使って表すことを確認する。 ↓ 文法ノートを見て説明する。	文法ノート④	説明はクメール語で行う。時間がなければ各人で読ませる(以下同)。	5-10分
「！」の質問について考える①-2	文型や表現について考え、ルールを発見する	2つ目の質問を考え、否定の言い方では「(Nは)V-ません」「(Nは)V-ないです」の形になることを確認する。 ↓ 文法ノートを見て説明する。 文法ノートの表を見て、「V-ます」「V-ますか?」「V-ません/V-ないです」の形を簡単に復習する。	文法ノート⑤		5-10分
(1)音声を聞いて下線にことばを書く②	言語形式に注目する	2番目の部分(朝ご飯、___、何、食べますか?~)を聞いて、下線にことばをメモする。 ↓ クラスで答えを確認する。	音声 05-34		2-3分
「！」の質問について考える②	文型や表現について考え、ルールを発見する	頻度を表す言い方(いつも/よく/あまり)について確認する。 ↓ 文法ノートを見て説明する。	文法ノート⑥		5-10分
(2)形に注目して会話をもういちど聞く	学んだ文型や表現を会話例の中で確認する	スクリプトを見ながら、はじめに聞いた会話例をもういちど聞く。勉強した文型や表現が、会話の中でどのように使われているかを確認する。	音声 05-32		5分

3 話す					
(1)モデル会話を聞く	これから話す会話のモデルをインプットする	会話の吹き出しを見ながらモデル会話を聞く。ここでは1つの質問に対して3つの答えがあるので、順番に聞く。	音声 05-35	吹き出しを PPT のスライドで示し、指しながら聞かせるとわかりやすい。	5分
(2)シャドーイング	モデル会話がスムーズに言える	会話の音声を聞き、シャドーイングする。スムーズに言えるようになるまで、何回か繰り返す。	音声 05-35	大きな声は出さず、自分でつぶやくように発音するよう注意する。 はじめは文字を見ながらシャドーイングしてもよいが、最後は何も見ないでシャドーイングできるようにする。	10分
(3)ペアで質問し合う	自分の言いたいこと、本当のことを伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになって、お互いに朝ご飯に何を食べる／飲むかを質問し合う。一通り終わったら、ペアを代えて別のひとと質問し合う。相手を代えて、何回か行う。</li> <li>・教科書に載っていないものを食べたり飲んだりする人は、スマホを使って調べたり、教師が教えたりする。</li> <li>・代表のペアを選んで、クラスの前で何組か発表してもらう。</li> </ul>		最初は、吹き出しの白抜き部分のことばを入れ替えるだけでもよいが、相手の答えに反応をしたりするなど、できるだけ自由に発展させる。 本当の情報を交換することで、意味のあるコミュニケーションにすることが大切。	10-20分
Can-do チェック					
Can-do チェック	学習したことを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の Can-do チェックを使って、Can-do が達成できたかどうかを「★★★★:よくできた」「★★★:できた」「★:まだ難しかった」の3段階で、自己評価する。</li> <li>・コメント欄には、活動の感想やこれからやってみようことなどを、自由に記入する。</li> </ul>	巻末「Can-do チェック」	Can-do チェックは、ひとつの活動が終わるごとに書いても、その課の学習が終わったときにまとめて記入してもいい。	5分

▶トピック 好きな食べ物 第5課 うどんが好きです					
「書く」活動 5. 今日の朝ご飯 Can-do 20: 食事の写真に簡単な説明をつけて、SNS に投稿することができる。					計45分程度
段階	目的	進め方	使う物	ポイント	時間
Can-do の確認					
Can-do の確認	学習目標の明確化	Can-do 20 を読んで、この活動で、できるようになることを確認する。		学習のあと、どんな場面でどんなことができるようになるかを具体的にイメージさせる。	2-3分
1 書く					
設定を確認する	書き手の立場の明確化	▶ の部分の設定を見て、読む場面や目的を確認する。 朝ご飯の写真を撮って、写真とともに SNS に投稿するという場面や目的を確認する。		単なる作文を書くのではなく、実際の生活の中で、どんな場面で、何のために「書く」タスクなのかをはっきり意識する。	2-3分
(1)例を読む	例を読んで、これからどんなことをどのように書けばいいか、見当をつける	・「例」のテキスト(インスタ風のレアリア「きょうのあさごはん」)を各自で読む ・ピンクの□の中にある「大切なことば」を見て、意味を確認する。 ・内容を確認するための簡単な質問をしたり、質問がないか確認したりする。		教師の朝食の写真の例として見せてもよい。	10分
(2)書く	自分で実際に書いてみる	・自分が宿題で撮ってきた写真を使って、各自でスマホを使って文を入力する。 ・書き終わったら、telegram のグループに送る。	各自のスマホ telegram (アプリ)	朝ご飯の写真を撮って送ることは宿題にしてある。	10-15分
2 書いたものについてフィードバックをもらう					
お互いに読んでフィードバックする	他の人の投稿を見て、コメント、フィードバックをする	・telegram の画面をプロジェクターで映し、クラスで投稿を共有する。 ・一人一人の投稿を、順番に映す。投稿者には、簡単に説明をしてもらう。 ・投稿を見て、クラスの他の人は、「おいしそうですね」など、感想やコメントを自由に言う。	telegram の画面(プロジェクタで映す)	クラス的环境に応じて、紙に印刷して配る、スマホ画面を直接グループで見せ合うなど、いろいろな方法で行ってよい。  実際に書いたものにお互いにフィードバックをす	10-15分

				ることで、書く活動をより意味のあるコミュニケーションに近づける。	
Can-do チェック					
Can-do チェック	Can-doの達成を自己評価し、学習したことを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の Can-do チェックを使って、Can-do が達成できたかどうかを「★★★★:よくできた」「★★:できた」「★:まだ難しかった」の3段階で、自己評価する。</li> <li>・コメント欄には、活動の感想やこれからやってみようことなどを、自由に記入する。</li> </ul>	巻末「Can-do チェック」	Can-do チェックは、ひとつの活動が終わるごとに書いても、その課の学習が終わったときにまとめて記入してもいい。	5分

▶トピック 好きな食べ物 第6課 チーズバーガーください					
「読む」活動 5. 飲食店の看板 Can-do 25: 飲食店の看板を見て、何の店かがわかる。					計45分程度
段階	目的	進め方	使う物	ポイント	時間
Can-doの確認					
Can-doの確認	学習目標の明確化	Can-do 25 を読んで、この活動で、できるようになることを確認する。		学習のあと、どんな場面でどんなことができるようになるかを具体的にイメージさせる。	2-3分
1 読む					
設定の確認	読み手の立場の明確化	▶ の部分の設定を見て、読む場面や目的を確認する。 日本の街を歩いていて、食事をする店を探しているという状況で、飲食店の看板を見ているという設定であることを確認する。		実際の生活において、どんな場面で、何のために、何を読んでいるのか、はっきり意識する。	2-3分
読んで内容を理解する	巻番の写真を見て内容を読み取る	【読む前に】 ・日本の食べ物について復習し、必要に応じて課の最後にある「日本の生活 TIPS」を読んで確認する。  【読む】 ・①～⑥の看板の文字を見て、何の店か、何が食べられるかを考える。 ・ペアになって、看板の文字と、食べ物のイラストのカードをマッチングするタスク(教科書の写真の上にカードを置く)として行う。  【読んだ後で】 クラスで解答を確認する。	日本の生活 TIPS  食べ物のイラストをカードにしたもの	これまで学習したことばを思い出しながら、内容を理解する。  「居酒屋」はこの段階ではことばとして学習していないが、「酒」などの漢字から推測する。  タスクはいろいろな方法でよい。クラスに合った方法で、理解を確認する。	15-20分
大切なことば	新しいことばで、Can-doの達成に必要なことばを確認する	ピンクの□の中にある「大切なことば」の意味を確認する(ここでは「居酒屋」のみ)。		写真の中のその他のことば(「築地」「お持ち帰り」「こだわりの味」等)は、Can-doの達成に特に必要がないので説明しない。レアリアにあるものは、全てを理解しなくて	5分

				もよいと考える。	
<b>2</b> 読んだ内容について理解を深める					
読んだテキストについて話す	自由に話し、理解を深める	看板の店について、どの店に入りたいか、クラスで意見を述べ合う。「～が好きです」など理由を言ったり、他の人の発言に対してコメントを言ったりする。		日本語で話してもいいし、クメール語で話してもよい。	10分
Can-do チェック					
Can-do チェック	Can-doの達成を自己評価し、学習したことを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の Can-do チェックを使って、Can-do が達成できたかどうかを「★★★★:よくできた」「★★:できた」「★:まだ難しかった」の3段階で、自己評価する。</li> <li>・コメント欄には、活動の感想やこれからやってみたいことなどを、自由に記入する。</li> </ul>	巻末「Can-do チェック」	Can-do チェックは、ひとつの活動が終わるごとに書いても、その課の学習が終わったときにまとめて記入してもいい。	5分